

 **第14回 阪神つながり交流祭 2023**

**「union（団結・繋がり）」**

園田学園女子大学 4号館 5階4501教室、4階4401～4405教室

**実施報告書**

**令和6年2月**

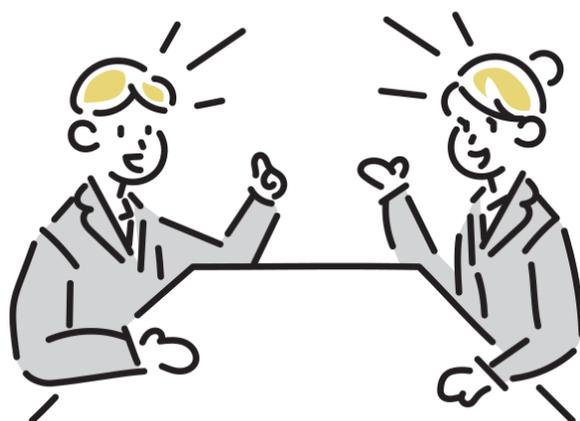
**つながり交流祭学生実行委員会**



## 目次

### 第14回阪神つながり交流祭2023の報告

- P.3 事業概要
- P.4 プログラム
- P.5 会場レイアウト図
- P.6 プログラム詳細
- P.14 アンケート結果
- P.19 学生実行委員会の振り返り



# 事業概要

## 1. 事業名

第14回 阪神つながり交流祭2023 「union(団結・繋がり)」

## 2. 日時

2023年12月16日(土) 14:00~16:40

## 3. 場所

園田学園女子大学 4号館 5階4501教室、4階4401~4405教室

## 4. 参加者数

149名

(内訳:参加団体101名、一般参加者30名、メディア2名、実行委員会7名、事務局9名)

## 5. 目的

阪神地域の大学・短期大学の大学生で構成されるつながり交流祭実行委員会が企画・運営の主体となり、地域団体や事業者、商店街等と連携して実施する地域活性化活動の促進をめざしています。

## 6. 主な内容

14:00~ 開会あいさつ

14:10~ 活動発表(PRタイム)

15:00~ ブースセッション

16:25~ 振り返り・閉会あいさつ

16:40~ 終了

主 催 つながり交流祭学生実行委員会

共 催 兵庫県阪神南県民センター

企画・運営 NPO法人コミュニティ事業支援ネット

### つながり交流祭学生実行委員会(阪神まち大学「イベントプロデュースコース」)

「阪神つながり交流祭」を企画運営するため、阪神地域の複数の大学の学生から構成される組織です。阪神地域の大学・大学生による地域活性化活動の魅力を広めるイベントの開催を目的に活動しています。大学・大学生と地域がかかわることの成果や課題を考え、これからの在り方を探り、阪神地域の活性化を図る企画を考えてきました。

#### <メンバー>

武庫川女子大学	文学部	3年	坂村優奈	関西学院大学	人間福祉学部	3年	與猶萌子
追手門学院大学	経済学部	3年	金田直也	甲南大学	法学部	2年	吉田雄斗
関西学院大学	総合政策学部	2年	比嘉柊斗	関西学院大学	法学部	1年	槇枝慶
奈良県立大学	地域創造学部	1年	下村栗子				

#### 阪神まち大学

社会課題・地域課題に対して自ら答えを導き出す力を身に着けた「社会で活躍する人材」を育成することを目的とした、NPO法人コミュニティ事業支援ネットが実施する大学生向けプロジェクトです。

# プログラム



## 14:00 開会

あいさつ

兵庫県阪神南県民センター長	木村 晶子
園田学園女子大学 学長	大江 篤
つながり交流祭学生実行委員会	吉田 雄斗

## 14:10 活動発表(PRタイム)

後半のブースセッションへの導入として、参加団体が活動概要をプレゼン

## 15:00 ブースセッション

参加団体がブースを作り、活動内容を説明&意見交換による交流

## 16:25 振り返り・閉会

参加者からの振り返りコメント

あいさつ

兵庫県阪神南県民センター 副センター長	奥野所 正樹
つながり交流祭学生実行委員会	坂村 優奈

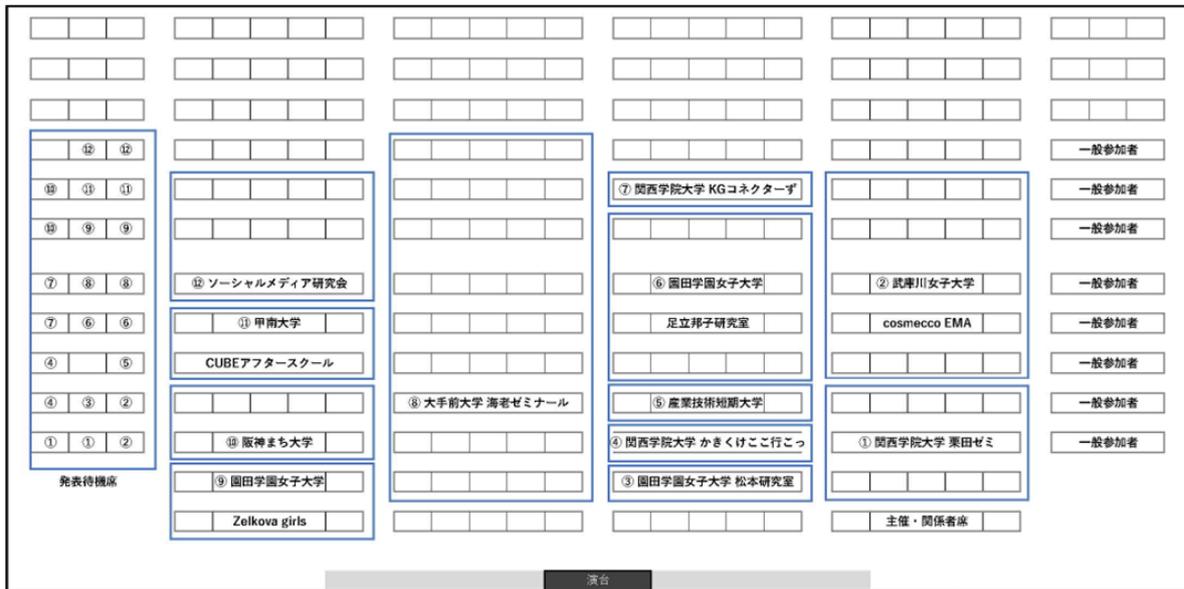
## 16:40 終了

### 活動発表・ブースセッション参加団体

1. 関西学院大学 栗田ゼミ  
尼崎を甘く
2. 武庫川女子大学 cosmecco EMA (コスメッコエマ)  
母なる大地のスキンケア
3. 園田学園女子大学 人間健康学部 食物栄養学科 松本研究室  
「大学と地域企業を地産食材の活用でつなげる『実践の「わ」』プロジェクト」
4. 関西学院大学 建築学部・かきくけここ行こっ  
かきくけここ行こっ
5. 産業技術短期大学 学生プロジェクト  
ロボットプロジェクト
6. 園田学園女子大学 足立邦子研究室  
尼崎プロジェクトー尼崎市の公園発掘・再発見：子育て応援プロジェクトー
7. 関西学院大学 KGコネクターズ  
ハッピーリングで繋がれ！学生と洋菓子店が紡ぐ西宮の輪
8. 大手前大学 海老ゼミナール  
阪神間モダニズムを基盤とした生活文化の観光情報タブロイド紙制作
9. 園田学園女子大学 経営学部 Zelkova girls (ゼルコバガールズ)  
塚口ゆめ未来プロジェクト
10. 阪神まち大学  
日本酒文化発信プロジェクト
11. 甲南大学 CUBEアフタースクール  
地域貢献サークル
12. 一般社団法人ソーシャルメディア研究会 関学支部  
子どもでも大人でもない“真ん中世代”が繋ぐ「ネットとわたし」プロジェクト

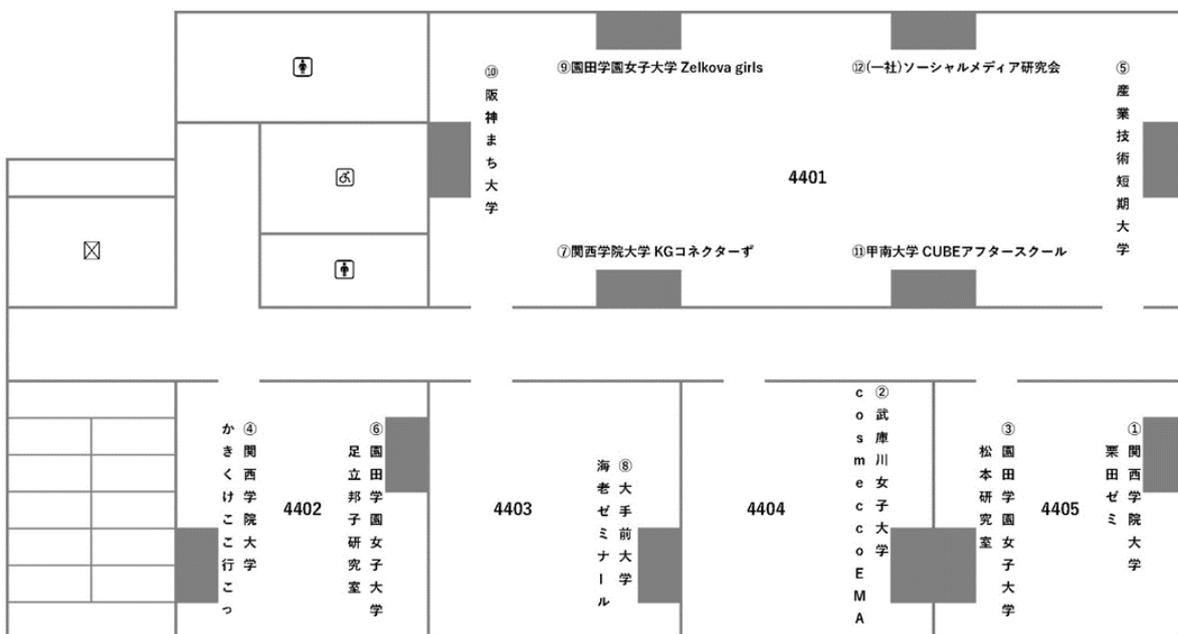
# 会場レイアウト図

## 開会式・活動発表のPRタイム(座席表)



- |                                |                     |                               |
|--------------------------------|---------------------|-------------------------------|
| ① 関西学院大学 栗田ゼミ                  | ⑤ 産業技術短期大学 学生プロジェクト | ⑨ 園田学園女子大学 経営学部 Zelkova girls |
| ② 武庫川女子大学 cosmecco EMA         | ⑥ 園田学園女子大学 足立邦子研究室  | ⑩ 阪神まち大学                      |
| ③ 園田学園女子大学 人間健康学部 食物栄養学科 松本研究室 | ⑦ 関西学院大学 KGコネクターズ   | ⑪ 甲南大学 CUBEアフタースクール           |
| ④ 関西学院大学 建築学部 かきくけこ行こっ         | ⑧ 大手前大学 海老ゼミナール     | ⑫ 一般社団法人ソーシャルメディア研究会 関西支部     |

## ブースセッション



※振り返り・閉会式は4401教室にて実施

# プログラム詳細

## 開会



あいさつ

兵庫県阪神南県民センター長  
園田学園女子大学学長  
つながり交流祭 学生実行委員会

木村 晶子 (写真2)

大江 篤 (写真3)

吉田 雄斗 (写真4)

写真1 司会の様子



写真2



写真3



写真4



## 1. 関西学院大学栗田ゼミ

テーマ	尼崎を甘く
担当教員	経済学部 教授 栗田匡相
連携団体	あまがさき観光局
内容	<p>私たちは主に雑誌出版とイベント開催の2つの活動を行っています。雑誌出版では学生がインタビューを行い、年2回春号と秋号を各1000部発行しています。</p> <p>イベント開催は雑誌で紹介した店舗様と協力した詰め合わせセットの販売等を行っています。以上の活動を通し、地域の人どうしだけでなく、地域外の人たちとのつながりを構築し、尼崎のより良いイメージ作り、活性化を目指します。</p> <p>今年10月22日には、阪神尼崎駅前の中央公園にて、SDGsと地方創生を掛け合わせた学生主体のイベントを行い、来場者数1万5千人以上の大規模なイベント開催に成功しました。</p>
活動の中で特にアピールしたいこと	<p>尼崎をもっと好きに。という強い思いから、尼崎の「食」や「人情」、「スポット」などに焦点を当て、ネットにある情報だけでなく、学生が実際に尼崎へ行って発見した魅力を発信しています。</p>



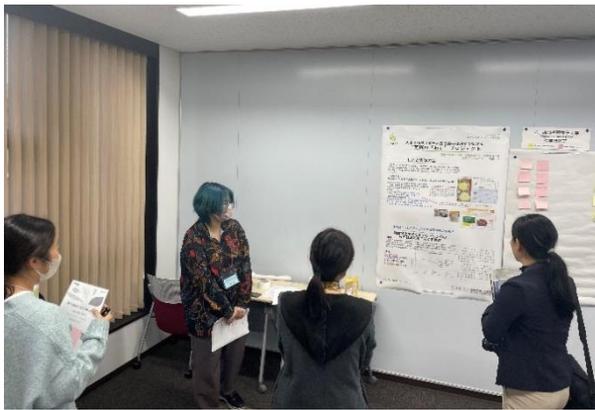
## 2. 武庫川女子大学 cosmecco EMA (コスメッコエマ)

テーマ	母なる大地のスキンケア
担当教員	社会情報学部 准教授 井上重信
連携団体	株式会社カツウ化粧品、尼崎鉄工団地協同組合 ワールドクリーンアップデージャパン、株式会社LIGHTSHIP
内容	<p>2023年9月のワールドクリーンアップデーイベントの実施に向け、5月から実施計画策定と関係団体や企業・組織の開拓と支援に向けた交渉、それぞれの地域活性に向けたSNSでの情報発信、9月の西宮市、11月の尼崎市でのプロギング(ジョギングをしながらのゴミ拾い活動)イベントの実施内容、また甲子園浜などでの既存活動団体のビーチクリーン活動への参加について報告します。</p>
活動の中で特にアピールしたいこと	<p>地域住民一人ひとりがゴミの量を減らし、身の回りに落ちているゴミを拾うことで、環境美化だけではなく、心豊かな生活を送るための意識改革と行動改善を目指しています。実現に向けて必要となる地域コミュニティのソーシャルキャピタルの醸成と、そのためのコミュニケーション、具体的な活動施策の検討、実施について考察しています。</p>



### 3. 園田学園女子大学 人間健康学部 食物栄養学科 松本研究室

テーマ	「大学と地域企業を地産食材の活用でつなげる『実践の「わ」』プロジェクト」
担当教員	人間健康学部 食物栄養学科 教授（学科長） 松本範子
連携団体	尼崎商工会議所、尼崎市経済環境局経済部地域産業課、濱口商店
内容	私たちは、濱口商店から依頼いただいた「さらだ粉」の活用や尼蒔（あまいも）ポターージュについて検討をしました。尼蒔ポターージュは学生間で試作を行い、夏季にとりやすいスープとして新しくピソワーズ風のレシピを提案しました。また、糖質の少ない尼蒔ポターージュに麴甘酒を加え、より日常的な甘酒の活用についても調査し、尼蒔と甘酒の併用飲料が若干の疲労回復作用について調査しました。 その他、「さらだ粉」を用いた減塩メニューや尼蒔を用いた嚥下食用スイートポテトについても試作を重ねています。
活動の中で特にアピールしたいこと	尼蒔と甘酒の併用飲料による若干の疲労回復作用について調査し、効果の可能性を見出しました。



### 4. 関西学院大学建築学部・かきくけここ行こっ

テーマ	かきくけここ行こっ
担当教員	建築学部 建築学科 教授 八木康夫
連携団体	株式会社 シュゼット・ホールディングス、株式会社 Kent HOUSE
内容	阪神南ベイエリアでは、不定期イベントや団体ホームページなどから見ることの出来る地域マップなどの手法がとられています。しかしそれだけでは、安定した集客ができず若い層の目にも届きにくいという問題点があります。そこで、阪神南ベイエリアの歴史的背景を客観的視点とし、建築を学んでいる女子大生目線を主観的視点としたベストビューポイントを見つけます。建築女子大学生がフィールドサーベイからスポットを発見します。飲食店やお店ではなく風景をメインで紹介し、私たちのぶらり旅に若者をはじめ多くの方が見て楽しめるようなインスタグラムの投稿をします。この活動の目的は、阪神南エリア全体のイメージアップを図るのではなく、この地域になにか目的をもって来てくれる人を増やすことです。 活動後は、私たちが発信したスポットに足を運んでくれた人々が近くの店で買い物や食事をし、その様子を SNS に投稿してもらうことで、この場所の魅力を拡散してもらうことにより、他地域からの人の呼び込み効果や地元の定着率を高める効果があり、経済効果も図れると考えます。
活動の中で特にアピールしたいこと	私たちの活動は、「建築学部」の女子大生が、阪神南ベイエリアを実際に歩いて見つけた魅力を発信することに意義があります。入学から2年間学んできた建築的視点で街を見渡すと、どのようなものが目に入り、なにに疑問を感じるのかに着目して、チェキ写真を撮りました。その場で写真にあわせたコメントをチェキに書き加えることで、オンラインの感情を形に残しています。



## 5. 産業技術短期大学 学生プロジェクト

テーマ	ロボットプロジェクト
担当教員	電気電子工学科 教授 二井見博文
連携団体	株式会社 エアグラウンド
内容	産業技術短期大学では学生プロジェクトとして、ロボットプロジェクトと広報プロジェクトを実施しています。ロボットプロジェクトでは、レスキューロボットコンテストへの出場や教材用ロボットの開発を行っています。レスキューロボットコンテスト2023ではベストパフォーマンス賞を受賞しました。ロボットプロジェクトで開発した教材用ロボットを紹介するとともに、尼崎商工会議所で行われるレスキューロボット操縦体験について発表します。
活動の中で特にアピールしたいこと	産業技術短期大学ロボットプロジェクトは、株式会社エアグラウンドと協力しながら、ユニークなロボット教材を開発しています。使う人のことを考え、実際に使ってもらい、改良を重ねてより良いロボットの開発を目指しています。



## 6. 園田学園女子大学 足立邦子研究室

テーマ	尼崎プロジェクト-尼崎市の公園発掘・再発見：子育て応援プロジェクト-
担当教員	経営学部 ビジネス学科 准教授 足立邦子
連携団体	阪神電気鉄道株式会社
内容	阪神電鉄様沿線_尼崎市市内における複数の公園のフィールドワークで情報収集を行い、阪神電鉄様が運営される女性応援WEBサイト「Cheer*full Café (チアフル カフェ)」の「公園ガイド」及び公式SNSサイト_Instagramにおいて情報発信を行ったことを報告します。その過程において得た知識や経験をもとに、阪神電鉄様が運営される女性応援WEBサイト「Cheer*full Café (チアフル カフェ)」のスマホ版とPC版、公式SNSサイト_LINEを親子向け・学生を含めた女性向けに、より魅力的にする提案をします。
活動の中で特にアピールしたいこと	阪神電鉄様が運営される女性応援WEBサイト「Cheer*full Café (チアフル カフェ)」のパソコン版、公式SNSサイトLINE及びInstagramの改善点を提案したこと、子育ての負担を低減する取り組みを提案したこと等をアピールしたいと思います。



## 7. 関西学院大学 KGコネクターズ

テーマ	ハッピーリングで繋がれ！学生と洋菓子店が紡ぐ西宮の輪
担当教員	商学部 准教授 森谷周一
連携団体	株式会社ベルン、株式会社ココウェル、西宮いちじく園、NPO法人とんとん
内容	西宮市にある企業と有志が集まった大学生が共同で地域住民に寄り添った商品の開発を行っています。その中で、「西宮市の魅力を再発見するきっかけを与える、同世代の学生や地元の方に地域と関わる楽しさ・面白さの魅力を活動を通じて伝える」という初めに抱いた小さな想いを商品の発売という大きな形への実現に向けて様々な人を巻き込み活動の幅を広げています。特に、私たち大学生が地域間の交流を深める架け橋となることでSDGsの「パートナーシップで目標を解決しよう」の達成につながるなど、地域や異なる立場の人との繋がりを大切に取り組んでいます。
活動の中で特にアピールしたいこと	有志が集まった学生と地域の企業が協力して商品を共同で開発することで地域を盛り上げたいと思います。また活動の中で様々な方、材料を提供して下さる農家の方など自分たちで足を運び、商品に思いを込めることで繋がりの輪をどんどん広めていきたいと考えています。多くの人のつながり、想いにより生まれるオリジナルの洋菓子を作成しています。



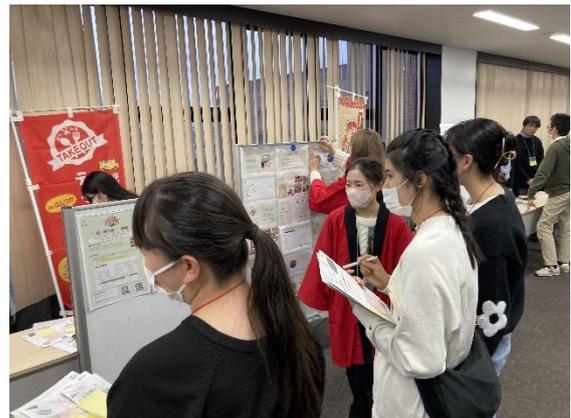
## 8. 大手前大学 海老ゼミナール

テーマ	阪神間モダニズムを基盤とした生活文化の観光情報タブロイド紙制作
担当教員	現代社会学部 観光・地域マネジメント 准教授 海老良平
連携団体	西宮市産業文化局都市ブランド発信課、西日本旅客鉄道株式会社兵庫支社
内容	この事業は阪神間の街歩き観光の情報タブロイド紙を制作し、配布することを目的としています。今回の調査にあたっては珈琲の紙面で西宮市都市ブランド発信課、スイーツの紙面でJR西日本兵庫支社の協力を得ました。珈琲店については一昨年からのこの事業で実施している「西宮・珈琲で地域活性化プロジェクト」を継続し、今回は阪神西宮駅周辺の珈琲店を調査しました。また、JR芦屋駅の職員と連携し、スイーツ店の調査を実施しました。調査内容はJR芦屋駅の職員が7月に制作したパンフレットに掲載し、JR芦屋駅110周年記念イベントに参加し、配布しました。
活動の中で特にアピールしたいこと	駅や市役所など、一般に配布できるだけのクオリティの高さを追求しています。それは情報内容や写真、記事の正確性などです。学生は取材先のアポ取りから取材、原稿制作、写真撮影、校正まで全て行っており、この活動は社会人としてのマナーなどの基礎力を身に付けることにも繋がっています。



## 9. 園田学園女子大学 経営学部 Zelkova girls (ゼルコバカールズ)

テーマ	塚口ゆめ未来プロジェクト
担当教員	経営学部 ビジネス学科 教授(学長) 大江篤
連携団体	塚口商店街振興組合
内容	このプロジェクトは、塚口商店街振興組合様と連携し、阪急塚口駅再開発にともなう塚口商店街の活性化を学生が企画し、提言するものです。2021年度は阪急塚口駅南側と北側の人流をつくるための社会実験のイベントを実施、2022年度は本学学生の購買行動や塚口商店街のイメージ調査を実施しました。この調査をもとに、「学割」イベントを実施し、塚口商店街と園田学園女子大学のつながりを深める仕組みをつくることを目指します。
活動の中で特にアピールしたいこと	経営学部ビジネス学科と塚口商店街の連携は3年目になります。私たちの取組みは、昨年度のつながり交流祭で発表したアンケート調査にもとづく提案を実現したものです。11月中旬から、学内で「学割」についての広報を始めています。



## 10. 阪神まち大学

テーマ	日本酒文化発信プロジェクト
連携団体	阪神電気鉄道株式会社
内容	私たちは阪神電鉄様と共に西宮の日本酒や日本酒メーカー様、地域の魅力を伝えるための企画づくりに取り組んでいます。具体的には、『えっ！日本酒意外と良いやん!!』大学生による大学生のための、西宮日本酒文化満喫ツアー(仮)と称して、大学生に日本酒の魅力を体感していただく企画を考えています。本日の発表では、私たちがどのようなきっかけで立案し、どのようなコンテンツで計画を行っているかを詳しくお伝えしたいと考えています。
活動の中で特にアピールしたいこと	日本酒に対するハードルをなくすためにおすすめの日本酒がわかる日本酒診断をメンバーで自作しました。イベント内のコンテンツとして利用する予定なので、イベントまでのブラッシュアップとして皆様に体験いただき、ご助言等いただきたいです。



## 11. 甲南大学 CUBEアフタースクール

テーマ	地域貢献サークル
担当教員	マネジメント創造学部 マネジメント創造学科 准教授 金坂成通
連携団体	西宮市深津町自治会
内容	私たち、CUBEアフタースクールは甲南大学公認サークルとして、地域貢献活動を主として活動しています。内容といたしまして、月1度程度のキャンパス・駅周辺のゴミ清掃活動に加え、近隣自治会と協力し、お餅つき大会、ハロウィンパーティー等を通し、地域を活性化する活動を行っています。以上の経験を通して、地域貢献活動をしていて発見したことや良かったこと、課題点等を取り上げ、よりよい地域社会にするためにはどうすればよいか、というテーマで発表を行う予定です。
活動の中で特にアピールしたいこと	自治会について所属している方やしていない方、また存在すら知らない方もいると思います。活動を通して私たちは「自治会」の大切さを学ぶことが出来ました。いざという時の1つの相談窓口としても大変重要な場所・集いであります。改めて自治会の大切さについて皆様にお伝えしたいです。



## 12. 一般社団法人ソーシャルメディア研究会 関学支部

テーマ	子どもでも大人でもない“真ん中世代”が繋ぐ「ネットとわたし」プロジェクト
担当教員	関西学院高等部 教員 矢野順一
連携団体	西宮市立上ヶ原小学校、西宮市立東山台小学校
内容	昨今、増え続ける小学生によるネットトラブルを未然に防ぐために始めた大学生によるSNS講演会について発表します。ネットを先に使い始めた先輩である私たちは、SNSについて自分と同じ失敗を今の小学生にはしてほしくないという思いで、周辺の小学校を訪問し自身の失敗談や経験談をもとに講演をしました。専門家の大人の方が行う講演会とは違う大学生ならではの講演会の内容と、講演会後に行った保護者と一緒になって考えるネット懇談会の内容について発表します。
活動の中で特にアピールしたいこと	私たちのアピールポイントは大学生らしい講演方法です。小学生とまだ年がそこまで離れていない大学生だからその近い距離感でお話しています。自分たちの失敗談を元にしているからこそ、親近感をもって話を聞いてもらっているのだと思います。



# 振り返り・閉会

## 振り返り



## 開会

あいさつ

兵庫県阪神南県民センター 副センター長  
学生実行委員会

奥野所 正樹 (写真1)

坂村 優奈 (写真2)

写真1



写真2

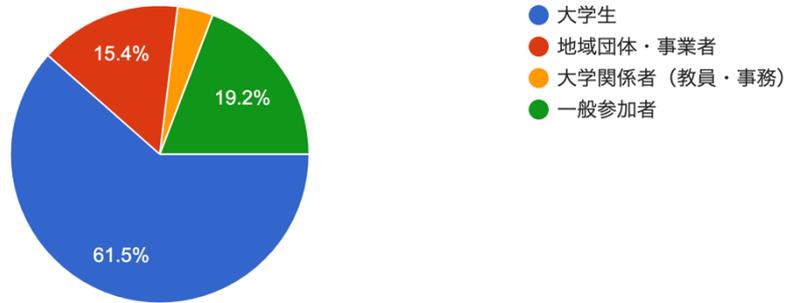


# アンケート結果

26件の回答が集まった。  
以下がアンケートの結果と内容である。

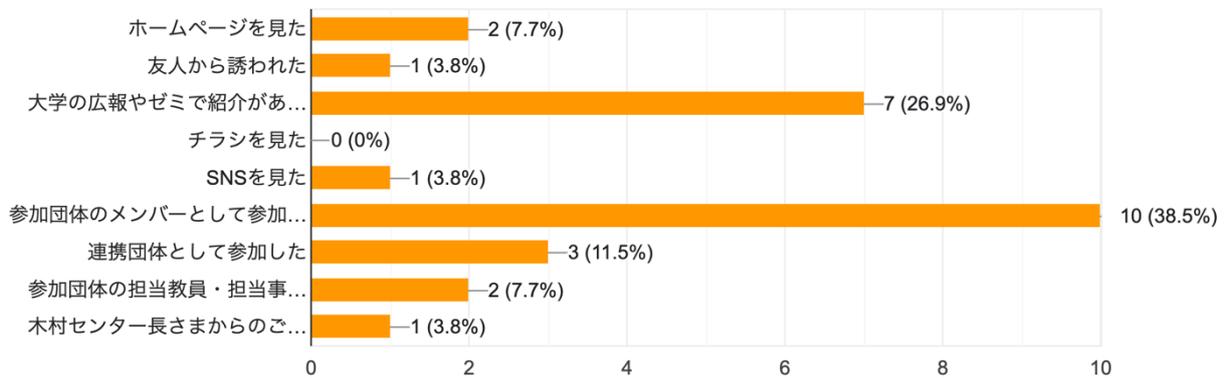
## ○参加者属性

26件の回答

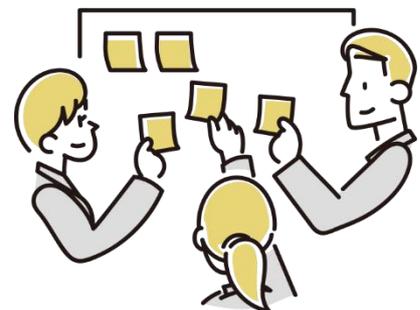


## ○参加のきっかけ

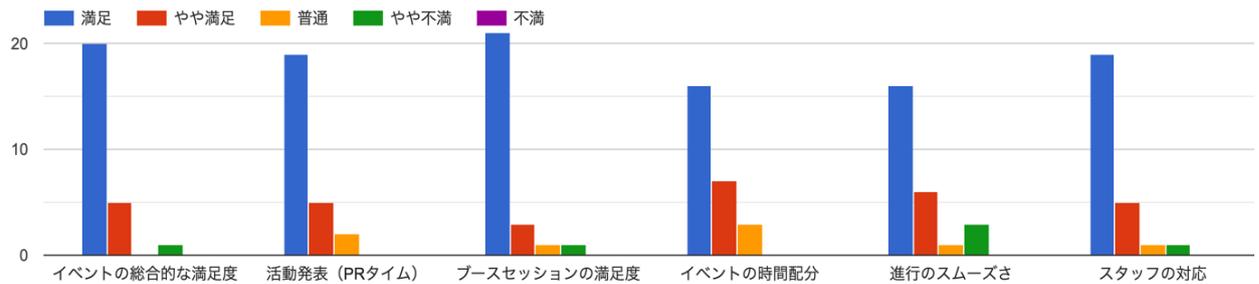
26件の回答



- ・最も多いのが『参加団体のメンバーとして参加した』
- 次に多いのが『大学の広報やゼミの紹介があった』



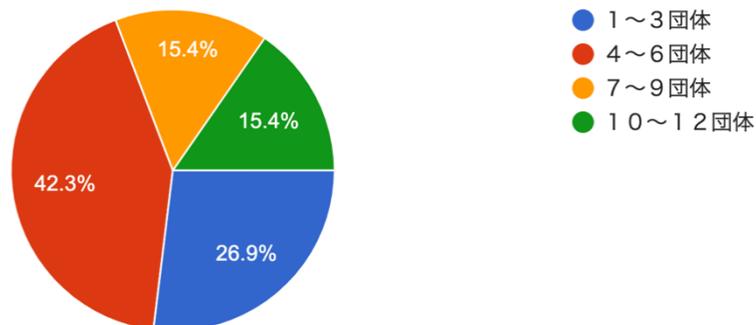
## ○阪神つながり交流祭の満足度



- ・ イベントの総合的な満足度は満足20名、やや満足5名、やや不満1名。  
活動発表 (PRタイム) は満足19名、やや満足5名、普通2名。  
ブースセッションの満足度は満足21名、やや満足3名、普通1名、やや不満1名  
イベントの時間配分は満足16名、やや満足7名、普通3名  
進行のスムーズさは満足16名、やや満足6名、普通1名、やや不満3名  
スタッフの対応は満足19名、やや満足5名、普通1名、やや不満1名

## ○ブースセッションで交流できた団体数

26件の回答



- ・ 1~3団体：7名、4~6団体：11名、7~9団体：4名、10~12団体：4名

## ○イベントで役に立ったことや学んだこと (複数選択設問)

- ・ 新たなつながりが生まれそう・生まれた：18名
- ・ 活動のヒント・参考になった：16名
- ・ 次に生かせそうなアドバイスがもらえた：10名
- ・ 参加してみたい取り組みがあった：9名
- ・ 活動団体としてつながり交流祭に参加してみたい：4名

## ○イベントに対して改善点やご要望（記述）

- ・司会進行がスムーズに行えていなかったため、もう少し事前に打ち合わせをする必要がある。
- ・ポストイットには書きにくい内容もあると思うので、フィードバックしあえる場があれば尚良い。立ったまま細かい内容を書くのはなかなか難しいので、当たり障りのないコメントになってしまう。
- ・今後の活動を一緒にできる団体を探していましたがいなかったため、発表グループのプロフィールを事前に教えてほしいと思います。
- ・空調が暑かった。

## ○イベントの感想

- ・来年度の発表のためのいい経験になりました
- ・新たな繋がりが出来たので良かったです。
- ・つながりが感じられてよかったと思う。（2名）
- ・沢山の大学と交流することができ、良い刺激になりました。
- ・縁を作るいい機会になりました。本当にありがとうございました。
- ・色々な方と繋がれて楽しかったです！
- ・すごく楽しかった
- ・刺激になりました
- ・とてもいい機会でした。たくさんの学びがありました。
- ・参加させていただき、活動している学生さんに実際お会いできて良かったです。益々大きなイベントになる事を期待しています！
- ・自分たちのイベントの参加のきっかけを作れた。学生とたくさん関わることがとてもいい経験になった
- ・学生との交流、また大人の方々との交流の機会や活動を知ってもらう機会がなかなかなかったの、とてもたのしかったです！
- ・最新の阪神間のさまざまな地域活性化の活動を学ぶ機会を得られて良かったと思います。
- ・色々な大学のプロジェクト内容が知れてとても刺激がもらえました。
- ・学生さんの、熱意が伝わりました。ありがとうございました
- ・興味あるブースですぐに話が聞けないほどでした。それだけ盛況で良かったです。ありがとうございました。
- ・各団体の連絡先リストが配布書類に記載されていると良かったです
- ・大学のサークル、ゼミと企業の来場者の方と交流でき、刺激的で新たな発見がたくさんできた1日になりました。ありがとうございました。
- ・他大学でどんなことをしているか知る機会が少なかったの、良い機会になった。
- ・初めて聞いた活動も多く、学びになりました。楽しい機会をありがとうございました。
- ・つながりのきっかけとなる機会をいただきました。
- ・素晴らしいイベントだと思いました。もっと一般の方々（地域住民や事業者など）にも参加して貰えれば、もっと広がりが見られるのではないかと感じました。
- ・私たちの活動を連携団体様や地域の方々、他団体の方々に伝え、交流することが出来て良かった。
- ・魅力的な発表がなかった



## アンケート結果を踏まえて

### 良かったこと

- ・以前からの課題である活動発表時間の長さが、交流性と自由度の高いブースを取り入れることにより改善された。
- ・このイベント名とコンセプトである『つながり』について多くの良い意見があり成果を得られた。

### 改善すること

- ・ポストイットでは踏み込んだ内容や細かな意見が書きにくいと指摘をもらったため、意見交換のやり方を考え直す。
- ・イベント前に発表団体の内容を知らない方がいたため、参加する全員に当日の情報が行き届くように共有する必要がある。
- ・昨年よりもアンケート回答者数が遥かに少なかったため、当日スクリーンに移して呼びかけなど工夫が必要である。



# 広報の活動

・ SNSでの広報活動.

X(エックス) @13koryusai



・ チラシの作成



Instagram @tsunagari\_koryusai



参加団体	
<p>園田学園女子大学 人間健康学部 食物栄養学科 松本研究室 大学と地産企業を地産食材の活用でつなげる「実践のわ」プロジェクト 尼崎市内の連携団体の協力のもと市内商店街の発展につながる情報提供ができるように事業を進めてきました。これからレシピ集などの完成となりまが少しも貢献できると嬉しいです。</p>	<p>園田学園女子大学 足立邦子研究室 尼崎プロジェクト 一般社団法人 阪神まち大学 ソーシャルメディア研究会本酒文化発信プロジェクト 子育て応援プロジェクト 「Cheer/Full Café (チアフル カフェ)」のパノソル版、公式SNSサイトなどの特性をより活かせる提案や阪神電鉄の子育て支援の取り組みをよりよいものにする提案を紹介します。</p>
<p>園田学園女子大学 経営学部 Zelkova girls (ゼルクバガールズ) 塚口ゆめ未来プロジェクト</p>	<p>関西学院大学 KGコネクター ハッピーリングで繋がれ！ 学生と洋菓子店が紡ぐ西宮の輪</p>
<p>園田学園女子大学 経営学部と塚口商店街の連携は3年目になります。どの店に売ってもみんな笑ってるから、商店街ではなく「笑店街」地元大学生が盛り上がる商店街にぜひ立ち寄りください。</p>	<p>企業と大学生が商品で共同開発する輪はゼミや授業の一環として行われることが多くあります。しかし、私たちは地域や美味しい物が好きとの思いから集まった有志のグループだからこそ知識を掛け合わせられることができます。</p>
<p>関西学院大学 栗田ゼミ 尼崎を甘く</p>	<p>関西学院大学建築学部 かきくけこ行こっ</p>
<p>これまで尼崎をまわってきた地元のお店や人々の魅力を伝えるとともに、まだ「良い」印象をもたれることのある尼崎のイメージを今まで以上に親しみやすく「甘い」ものへ変えたいという想いでこの活動を行っています。</p>	<p>私たちは三田に分けて、阪神間バイエリアを歩き、「良いな」と思った建築・建物などを子どもにゆめを。それらをインスタグラムを通して発信しています。私たちの「良いな！」に共感していただければ幸いです。</p>
<p>大手前大学 海老ゼミナール 阪神間モダンな暮らしを基盤とした生活文化の観光情報タロイド紙制作</p>	<p>武庫川女子大学 cosmecco EMA (コスメッコ エマ) 環境美化を通じた地域活性化プロジェクト</p>
<p>私たちのゼミでは阪神間の地域観光について研究することをテーマとしています。地域の方々との交流によって色々なお話を聞き、他にない阪神間の魅力を発信していくことが私たちの活動の核となっています。</p>	<p>実際のイベントを通して地域の輪が広がる感覚や、ゴミ拾い等がボランティア活動に対するハードルを下げ、楽しいイベントとして普及している実感があります。これからの社会でソーシャルグッドな日常形成をサポートできる活動です。</p>
<p>(一社) ソーシャルメディア研究会 関学支部 子どもでも大人でもない「真ん中世代」が繋ぐ「ネットとわたし」プロジェクト</p>	<p>阪神まち大学 日本酒文化発信プロジェクト</p>
<p>子どもだけでなく、学生や、大人の方も「自分とSNSの向き合い方について考える」きっかけとなれば幸いです。</p>	<p>私たちは阪神まち大学内の日本酒文化発信プロジェクトに携わっているメンバーです。ターゲットである大学生に向けて、日本酒や西宮の地域を身近に感じてもらえるような企画作りを行っています。</p>
<p>甲南大学 CUBEアフタースクール 地域貢献サークル</p>	<p>産業技術短期大学 学生プロジェクト ロボットプロジェクト</p>
<p>皆さん「自治会」についてご存じでしょうか？ 自治会は、人々との交流を測ったり、地域の不満共有、また防災面で協力を行うことが出来る大切な任意団体です。これを機に自治会について詳しく知ってみませんか？</p>	<p>産業技術短期大学のロボットプロジェクトは、レスキューロボットコンテスト用のロボットの開発の他に、様々な教材用ロボットの開発を行っています。ロボットを通じ、地域貢献をしていきたいです。</p>

# 学生実行委員会の振り返り

## \*つながり交流祭全体を通しての感想・反省

- ・発表形式を初めてのブースにし、始まるまでどうなるのか不安でした。けれど、想像以上に皆さんが積極的に参加していて、成功に終わりやりがいを感じた。
- ・準備の段階ではイベントが近づくほど、詰め詰めになってしまったので計画性を立て行動するとより良くできたと思った。
- ・特定のブースに固まることなくみなさん真剣に聞いていたので、ブース形式にしてよかった。
- ・会場の片付けをある程度参加者にも手伝ってもらってもよかったのではないかと思った。
- ・ブースの時に明るい雰囲気であらゆる交流していて、とてもいいと思ったが準備では最後に忙しくなったのもっと、早めにやれば良かった。
- ・本番の流れの確認だけでなく、リハーサル時の確認にも力を入れるべきだった。



## \*各役割の感想・反省

### ◎司会進行(MC)

- ・全体的にスムーズに進めることができた。あらかじめしっかりと確認できていたのがよかった。
- ・本番で変更点があったが、臨機応変に対応できた。良い雰囲気ですべて進行することができた。

### ◎PC

- ・次の団体の説明PowerPointを出すたびに移動するのではなく、近くにいた方が物音を立てずにスムーズにできた。
- ・あらかじめ発表順にPowerPointを立ち上げておいてくれたのがよかった。

### ◎誘導

- ・発表者のみなさんがリハーサルで発表位置や順路をきちんと把握してくれたおかげで、スムーズにいき安心して仕事をすることができた。

### ◎まわし

- ・準備や設営に追われ、リハーサルの部分では準備不足な点もあったが、参加団体さんの協力もあり、最終的に本番で大きなミスが無かったので良かった。

### ◎時間管理

- ・活動発表では、全員時間内に発表を終えることができ、予定よりも長くブースセッションに時間を割くことができた。登壇者がスムーズに動くことのできる座席配置であったことや、事前に時間厳守をお願いしていたことが良かった。

## \* 次の実行委員に向けて

- ・スムーズな進行を行うために、本番とリハーサルどちらもシナリオを考えておくが良い。
- ・恐らく大半が初対面のメンバーなので、可能であれば2～3回ほど対面で話しあった方が打ち解けられ、意見交換もしやすくなる。
- ・チラシ作成は完成版を見てもらおうとせずにできたところから見てもらった方がよい。可能なら共有編集のリンクを送るとよい。
- ・活動当初は何をしたらいいのかわからず、あまり進めることができなかったため、最後に忙しくなってしまったので、もっと早めからできるようにした方がよい。
- ・初めてすることが多いと思いますが頑張ってください。

